



2019 年度事業報告書

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

2020 年 5 月

いちかわ電力合同会社
NPO 法人いちかわ電力コミュニテイ

1. いちかわ電力について

(1) 「いちかわ電力」の目的

気候変動の防止に寄与し、地域の活性化と住民の安全と福利、子どもたちの健全な未来の実現に向けて、千葉県市川市及び周辺地域において、持続可能な再生可能エネルギーを最大限に普及させるために必要な活動を行います。

(2) 活動推進体制

二つの法人が役割分担をして進めます。「いちかわ電力合同会社」は、再生可能エネルギー事業の透明性の確保の為に発電事業に特化した会社で、「NPO 法人いちかわ電力コミュニティ」が再生可能エネルギー事業の推進に向けた普及啓発、情報発信等を行います。

2. 第一号発電所『つなぐ つながる発電所』について

(1) 発電所の概要

第一号発電所は、社会福祉法人一粒会様が運営する「児童発達支援事業所『結』」と「児童自立援助ホーム『坂梨ホーム』」が一体となった施設（以下、同施設）のカーポートに 5.4kw の太陽光発電設備を設置し、2018年5月18日から稼働しました。弊社は、設備賃借料を收受するとともに、発電した電気を同施設が自家消費したあとの余剰電気にかかわる売電収入を收受します。自家消費による電気代削減を実現し、同施設の活動を支援します。

施設名称は、「坂梨ホーム」のお子さんたちが、「結」の意味合いを活かした素敵な名称を相談して考えていただきました。

< 社会福祉法人一粒会様からのお手紙 >

私どもは、木更津に本部を置く社会福祉法人です。当法人では虐待など様々な理由で親と暮らせない子どもたちを保護し、2番目の家と

して子どもたちを養育する児童養護施設「野の花の家」や、主に DV 被害を受けた母子を保護する母子生活支援施設「FAH こすもす」、在日外国人の家族の相談にも対応できる児童家庭支援センター「ヴィオラ」などを運営しております。

児童発達支援事業所「結」では、就学前の発達の遅れのあるお子様たちの通所施設です。季節を感じながら、五感に働きかけ一人ひとりに寄り添った療育を行っています。

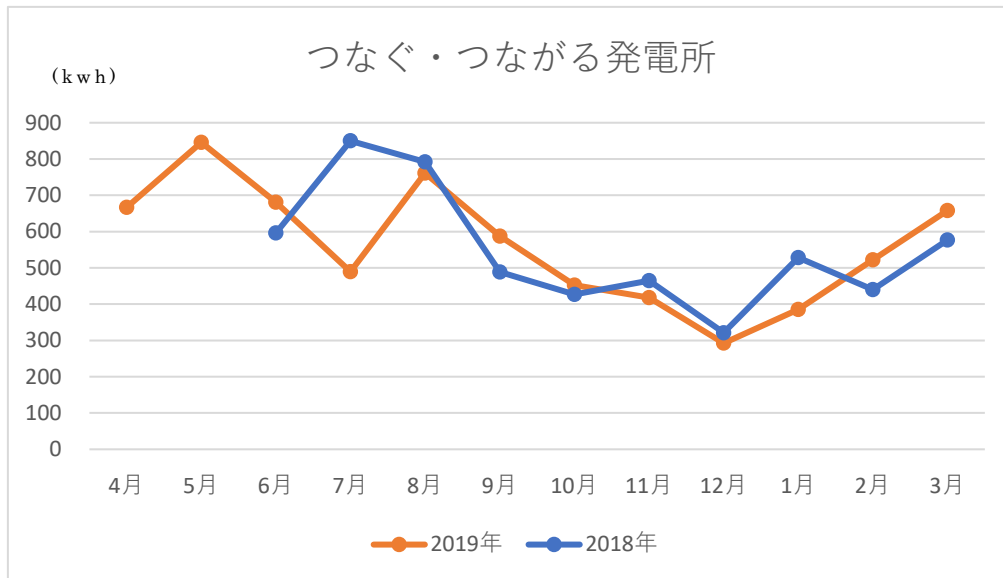
児童自立援助ホーム「坂梨ホーム」は、義務教育を終えたばかりなのに自立をせざるを得なくなった青年が自立の準備をする暮らしの場です。

いちかわ電力さんのご支援をいただき、人と人がつながり、社会とつながり、心温まる出会いをさせて頂いております。どのような環境に生まれても、全ての人が幸せを感じながら、社会の一員として暮らしていけるよう活動してまいります。



(2) 発電状況

2019年度の発電量の合計は 6,760kwh、売電量は 2,884kwh となりました。同施設の消費電力量に対して、夏季で約 40%強、冬季で約 30%弱を太陽光発電で賄うことができました。発電量は、稼働を開始した前年 6 月以降と比較すると、7 月の長雨、秋の台風のほか 1 月の日照不足などの天候不順によりやや減少しました。



3. 第二号発電所『よつば ひろがる発電所』について

(1) 発電所の概要

第二号発電所は、栃木県壬生町の山林を整備したエリアに 25.7kw の野立の設備を設置し、全量売電により投資資金を回収します。2018 年秋から工事を開始し、2019 年 4 月 8 日に稼働を開始しました。

所在地：栃木県壬生町藤井字大御堂

面積：507 m²

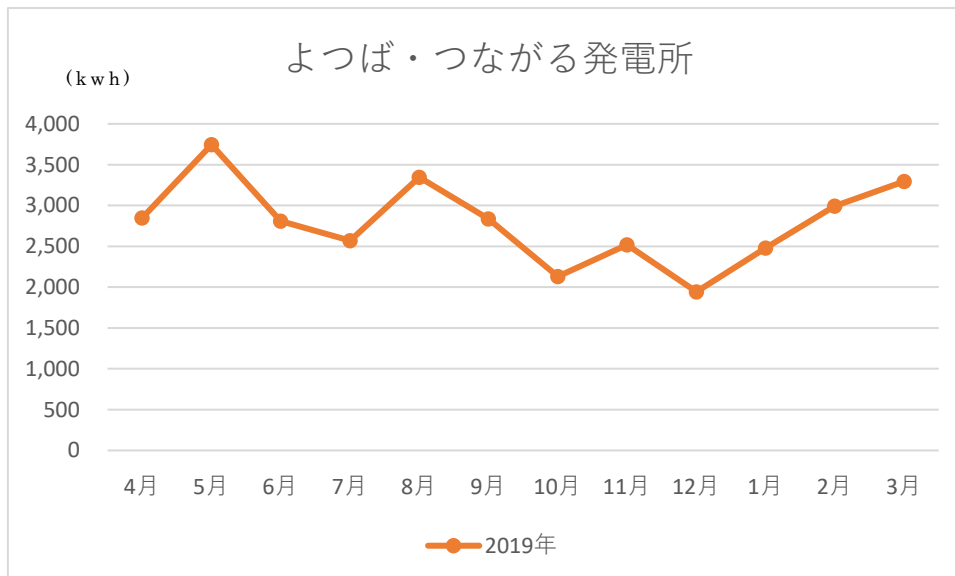
設備の稼働にあたり太陽光パネル周辺に雑草対策としてクローバーを植えました。クローバーが広がるこの発電所でつくられるクリーンな電気を通じて、多くの人たちに幸せが広がりますようにという思いを込めて、施設名称を「よつば・ひろがる発電所」としました。





(2) 発電状況

発電量合計は 33,523kwh となりました。



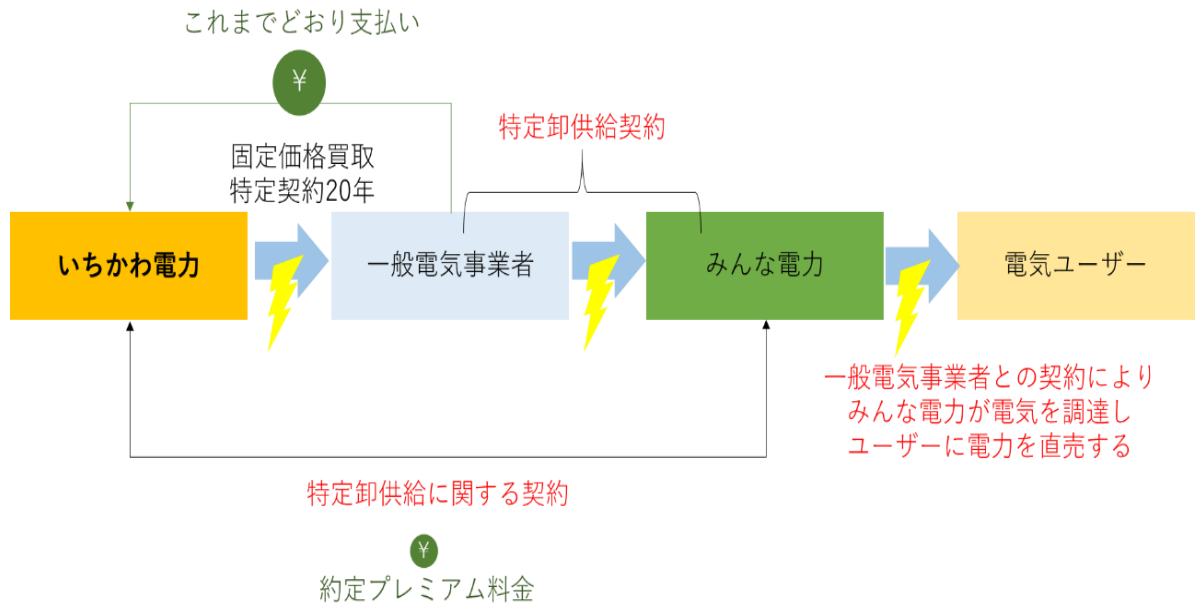
(3) みんな電力株式会社と特定卸供給に関する契約を締結

これまでどおり東京電力への固定価格買取は維持されたまま、東京電力とみんな電力が特定卸供給契約を締結することで、2020年3月から、いちかわ電力が発電した電気を再エネ由来だけを欲しい消費者の方にお届けすることが可能になりました。みんな電力のウェブサイト『顔の見える発電所』に掲載されました。

<https://portal.minden.co.jp/powerplant-info/MP000164>

みんな電力は、多数の再エネ発電所と契約し、再エネ由来の電気を安定供給しており、再エネ比率は現在、約 8 割と業界トップクラスであり、今後、再エネ 100%の調達を目指しています。

【スキーム図】



4. 地球環境への貢献

(1) 発電量を二酸化炭素削減量に換算すると・・・22,598kg-CO2/年（家庭からの排出量 6.5 世帯分）

計算式：二酸化炭素削減量[kg-CO2]=年間発電量 KWh×0.561kg-CO2/KWh

世帯当たり CO2 排出量 3,490kg-CO2/世帯・年

出典：太陽光発電協会 表示ガイドライン（平成 30 年度）

環境省 家庭部門の CO2 排出実態統計調査

(2) 発電量を石油削減効果に換算すると・・・5,129ℓ-CO2/年（ポリタンク 284 本分）

計算式：石油削減効果[ℓ-CO2]=年間発電量 KWh×0.227ℓ/KWh

出典：太陽光発電協会 表示ガイドライン（平成 30 年度）

5. 2019年度（第三期）の決算状況

(1)貸借対照表

貸借対照表

令和02年03月31日 現在

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	2,194,037	【流動負債】	107,200
現金及び預金	1,788,667	未払法人税等	107,200
未収消費税	405,370	【固定負債】	10,500,000
【固定資産】	8,391,118	社債	10,500,000
有形固定資産	8,391,118	負債の部合計	10,607,200
機械装置	8,114,663	純資産の部	
土地	880,300	科目	金額
減価償却累計額	△603,845	【株主資本】	△22,045
		資本金	100,000
		利益剰余金	△122,045
		その他利益剰余金	△122,045
		繰越利益剰余金	△122,045
		(うち当期純利益)	213,239
		純資産の部合計	△22,045
資産の部合計	10,585,155	負債・純資産の部合計	10,585,155

資産の部は、二か所の発電所の機械装置を計上するなど合計で10,585千円となりました。負債の部は、社債10,500千円など合計で10,607千円となりました。純資産の部は、当期純利益213千円を計上したものの開業時からの累積損失があり△22千円となりました。

(2) 損益計算書

損益計算書

自 平成31年04月01日
至 令和02年03月31日

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	915,403	915,403
【売上原価】		
売上総利益		915,403
【販売費及び一般管理費】		541,531
営業利益		373,872
【営業外収益】		
雑収入	67	67
【営業外費用】		
支払利息	50,000	50,000
経常利益		323,939
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純利益		323,939
法人税等		110,700
当期純利益		213,239

売上高は、設備賃貸料と売電収入により 915 千円となりました。販売費及び一般管理費は、減価償却費などで 541 千円となったことから営業利益 373 千円となり、法人税等を差し引いた当期純利益は 213 千円となりました。

なお、売上高の内訳は以下のとおりです。

一号発電所	231 千円	(設備賃貸料 160 千円、売電収入 70 千円)
二号発電所	683 千円	(売電収入 683 千円)
合計	915 千円	

(3) 販売費及び一般管理費内訳書

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成31年04月01日
至 令和02年03月31日

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

科目	金額
【販売費及び一般管理費】	
通信費	2,969
水道光熱費	11,147
備品・消耗品費	386
租税公課	4,000
支払手数料	10,600
寄付金	33,000
減価償却費	478,765
雑費	664
販売費及び一般管理費合計	541,531

損益計算書の販売費及び一般管理費の内訳ですが、主なものは減価償却費 478 千円で、全体では 541 千円となりました。

(4) 株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

自 平成31年04月01日
至 令和02年03月31日

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

株主資本		
資本金	当期首残高	100,000
	当期変動額	0
	当期末残高	100,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	-335,284
	当期変動額	当期純利益 213,239
	当期末残高	-122,045
株主資本合計		
	当期首残高	-235,284
	当期変動額	213,239
	当期末残高	-22,045
純資産の部合計		
	当期首残高	-235,284
	当期変動額	213,239
	当期末残高	-22,045

出資者の持ち分に関する当期の動きを示すものが株主資本等変動計算書です。当期首残高△235 千円に対して、期中の変動として 213

千円の当期純利益が加わり、当期末の純資産残高は△22千円となりました。

以上